書式例（フッ化物洗口指示書）

粉末製剤（ミラノール）を用いた場合の洗口指示書案

指　示　書

令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　学校長　様

フッ化物洗口　　　　　人の１回分につき

１　水　　　　　ｍｌにフッ化物洗口剤（ミラノール顆粒１１％ ７．２ｇ）

　　　　　　　包を溶かして、フッ化物洗口液（０．２％フッ化ナトリウム）

を作成し、

２　児童・生徒１人につき１０ｍｌのフッ化物洗口液を用いて、

３　週１回、１分間洗口させること。

　　（なお、フッ化物洗口後３０分間はうがいや飲食を避けること。）

学校歯科医

住所

氏名　　　　　　　　　　　　　　　印

【参　考】

　フッ化物洗口剤（ミラノール洗口用顆粒１１％ 7.2ｇ）は、400ｍｌの水に１包を溶かし、１人につき10ｍｌ使用する場合、40人分の洗口液をつくることができます。クラスごとにディスペンサーに分ける場合、最後の一押しまで量を確保するには多めに作る必要がありますので、全校生徒数の約１０％増がよいでしょう。

（洗口実施生徒数×1.1）／40＝フッ化物洗口剤必要包数

（例）400人の場合、10％増しの440人／40＝11包ですので、これを4,400mlの水道水に溶かしたあと、クラスの人数分＋α（約10％分）をディスペンサーに分注します。

粉末製剤（オラブリス）を用いた場合の洗口指示書案

指　示　書

令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　学校長　様

フッ化物洗口　　　　　人の１回分につき

１　水　　　　　ｍｌにフッ化物洗口剤（オラブリス洗口用顆粒１１％ ６ｇ）　　　　　包を溶かして、フッ化物洗口液（０．２％フッ化ナトリウム）を作成し、

２　児童・生徒１人につき１０ｍｌのフッ化物洗口液を用いて、

３　週１回、１分間洗口させること。

　　（なお、フッ化物洗口後３０分間はうがいや飲食を避けること。）

学校歯科医

住所

氏名　　　　　　　　　　　　　　　印

【参　考】

　フッ化物洗口剤（オラブリス洗口用顆粒１１％ ６ｇ）は、３３２ｍｌの水に１包を溶かし、１人につき１０ｍｌ使用する場合、３３人分の洗口液をつくることができます。クラスごとにディスペンサーに分ける場合、最後の一押しまで量を確保するには多めに作る必要がありますので、全校生徒数の約１０％増がよいでしょう。

（洗口実施生徒数×１．１）／３３＝フッ化物洗口剤必要包数

（例）３００人の場合、１０％増しの３３０人／３３＝１０包ですので、これを３３２０ｍｌの水道水に溶かしたあと、クラスの人数分＋α（約１０％分）をディスペンサーに分注します。

液体製剤を用いた場合の洗口指示書例

フッ化物洗口指示書

令和　 年　 月　 日

　　　　　　　　　　学校長　様

〇〇小学校のフッ化物洗口液 1 回分(1 週間分）として、

ジーシー昭和薬品製オラブリス洗口液0.2%を使用して

週１回 児童 1 人につき１０ｍL の洗口液にて

30 秒から１分程度 洗口させること。

洗口後 30 分間はうがいや飲食を避けること。

学校歯科医師

住　所

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　 印

液体製剤（ポーション）を用いた場合の洗口指示書例

フッ化物洗口指示書

令和　 年　 月　 日

　　　　　　　　　　学校長　様

〇〇小学校のフッ化物洗口液 1 回分(1 週間分）として、

ジーシー昭和薬品製オラブリス洗口液0.2%（ポーション）を使用して

週１回 児童 1 人につき１ポーションの洗口液にて

30 秒から１分程度 洗口させること。

洗口後 30 分間はうがいや飲食を避けること。

学校歯科医師

住　所

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　 印